

## 甲状腺外科草子 42

### 戦火を浴びた城：会津

杉野 圭三

戊辰戦争では多くの若者が犠牲になった。特に会津藩は初代藩主の保科正之が将軍家光の異母弟で信任厚く重用を受け、代々徳川家に忠節を誓う家柄となった。

このため、幕末の尊王攘夷の混乱の中で幕府のため藩を挙げて協力し、結果的に大きな苦節を舐めることとなった。

大河ドラマ「八重の桜」で注目を集めた鶴ヶ城には観光客が大挙押し寄せ、小生も某年春に会津へと足を伸ばした。

鳥羽・伏見の戦いで勝利した官軍は江戸を抑え、会津追討令を出した。これに対して東北・北越地域の諸藩（31藩）は慶應4年（1868）5月3日、奥羽越列藩同盟を結び官軍と対峙することとなった。



しかし、白河城、二本松城の戦いで官軍が勝利し、8月23日から鶴ヶ城攻防戦が始まった。9月22日の降伏まで約1か月間、激戦が展開され会津藩士 2400-3000人が戦死したとされる。



開城時の鶴ヶ城

現在

戊辰戦争では多くの若者が散り、二本松少年隊や白虎隊の悲劇は今も現地で追悼行事が行われている。



悲劇の地 飯盛山

飯盛山から望む会津市内

白虎隊士中二番隊の悲劇が起こった飯盛山で隊士達は黒煙を上げる城を見て自決を選んだという。この場所に長居するのは精神的につらいものがある。

鶴ヶ城周囲の藩主の別荘では、薬草の栽培なども行われ、御薬園として親しまれている。季節の花に囲まれた整備された美しい庭園である。



御薬園を彩る花々

会津地方は少し足を伸ばせば、猪苗代湖や磐梯山など周囲に観光名所が多く、観光拠点としても見逃せないものがある。余裕があれば、ゆっくり巡りたいものである。



裏磐梯

五色沼

鶴ヶ城公園で遊ぶ子供たちを見て一句！

桜散る城 会津の子らの笑みよ

桜散る城 令和の子らの笑み開く

「令和」か「会津」か？「笑みよ」で詠嘆すべきか、「笑み開く」で終わるべきか？随分悩んだが、如何に添削しても凡人かな？

( 一甲状腺外科医の徒然なる随想 )

2022年9月1日